

事業創造デザインプログラム

～想像力の勝負で、社会の仕組みを根本から変える～

プログラム紹介

2021.5 version4.1

～想像力の勝負で、社会の仕組みを根本から変える～





SSDC設立の想い

社会のデザインとテクノロジーは両輪の関係



SSDC副代表理事 中島秀之氏
(札幌市立大学 理事長・学長)

我々は社会システム自体をデザインし直すことを目標に活動したいと思います。

社会のデザインとそれを支える技術は車の両輪、鶏と卵の関係で、どちらが先というものではなく、両方を回しながら進んでいくものと考えています。

SSDCについて

札幌市立大学 理事長・学長 中島 秀之 氏

2019.8.29

社会システムデザインセンターへの期待

■社会のデザインとテクノロジーは両輪の関係

氏田雄介『54字の物語』（PHP研究所）に次のような話があります。「未開の星に高度なテクノロジーが伝来した。その星の人びとは馬車の馬を精巧なロボットに置き換えた。」これ、笑い話ではなく、現実の社会で起こっていることです。高度なテクノロジーがあれば馬車にこだわる必要はありません。自動車や飛行機や宇宙船が（ひょっとしたらタイムマシンも）作れるのです。AIやIT（面倒なので以後AITと呼びます）を導入すれば仕組みを根本的に改善できるはずなのに、従前のやり方の一部だけをコンピュータ処理しようとしているシステムの多いこと。

<https://ssdc.ai/contribution/contribution-68/>



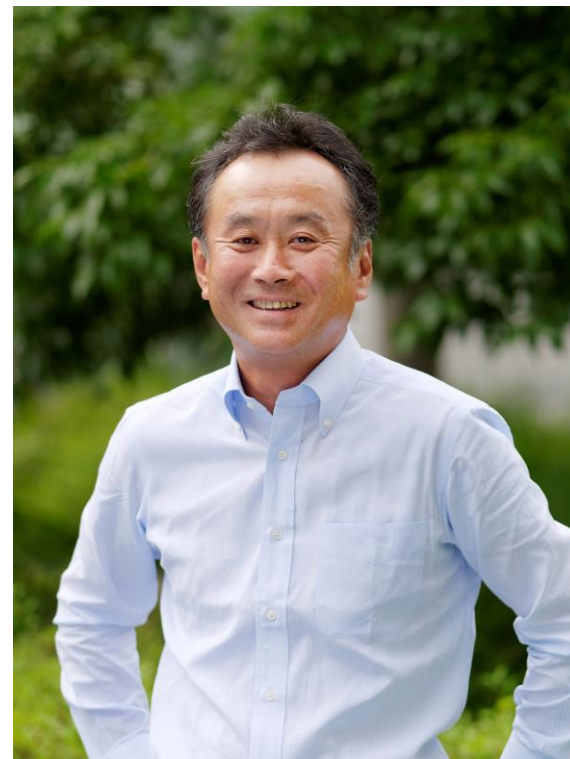
SSDCの役割

「AI・IoT・ロボティクスによる 人と社会の幸せな未来のために」

SSDCは、課題の発見を起点として、それをしっかり定義し、現在・未来の科学技術を結び、新たなソリューションを生み出します。そして、PoCによる価値検証を行い、課題の解決策を探ります。また、未来を切り開くさきがけ的な価値をつくります。

その過程において、起業家、大学、研究機関、行政、投資家と連携し、人・技術・資金という重要リソースを得つつ、新たな事業を生み出します。

結果として、私たちの取り組みが、**より良い社会の発展に貢献し、さらには、日本の若者による起業の芽・苗をたくさん育むことに繋がれば**と願っています。



SSDC代表理事 牧田和也
(日本ビジネスシステムズ株式会社 取締役副社長)



事業創造デザインプログラムのねらい

「社会を豊かにする事業の創造力」

を身につけ、生み出していくための実践型プログラム

Why

事業創造のノウハウを学び、社会を豊かにする事業・サービスを生み出すため

Who

新たな価値を創り出していく熱意のある法人・個人・学生の方々と

What

イノベーションを起している事業家が活用している事業創造手法を実践する
(デザイン思考 × ジョブ理論 × Lean Startup)

How

- ワークショップ形式の講義
- フィールドワークによる実践



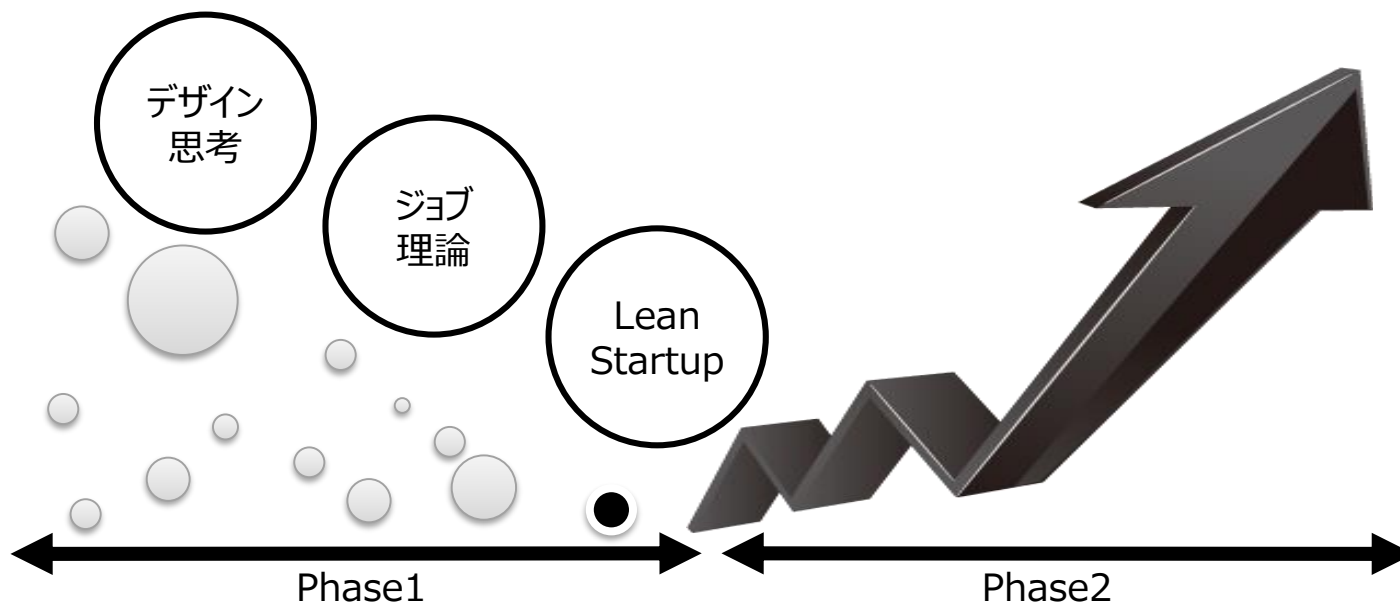
事業創造デザインプログラムのアプローチ

SSDCは、デザイン思考やジョブ理論を使い課題・ニーズ探索を実施し、Lean Startup手法による最先端のイノベーションプロセスに沿って、早期に具体化します。

具体化に際しては、大学、関連企業などのネットワークが保有する研究成果・知的財産などを最適に組合わせていきます。

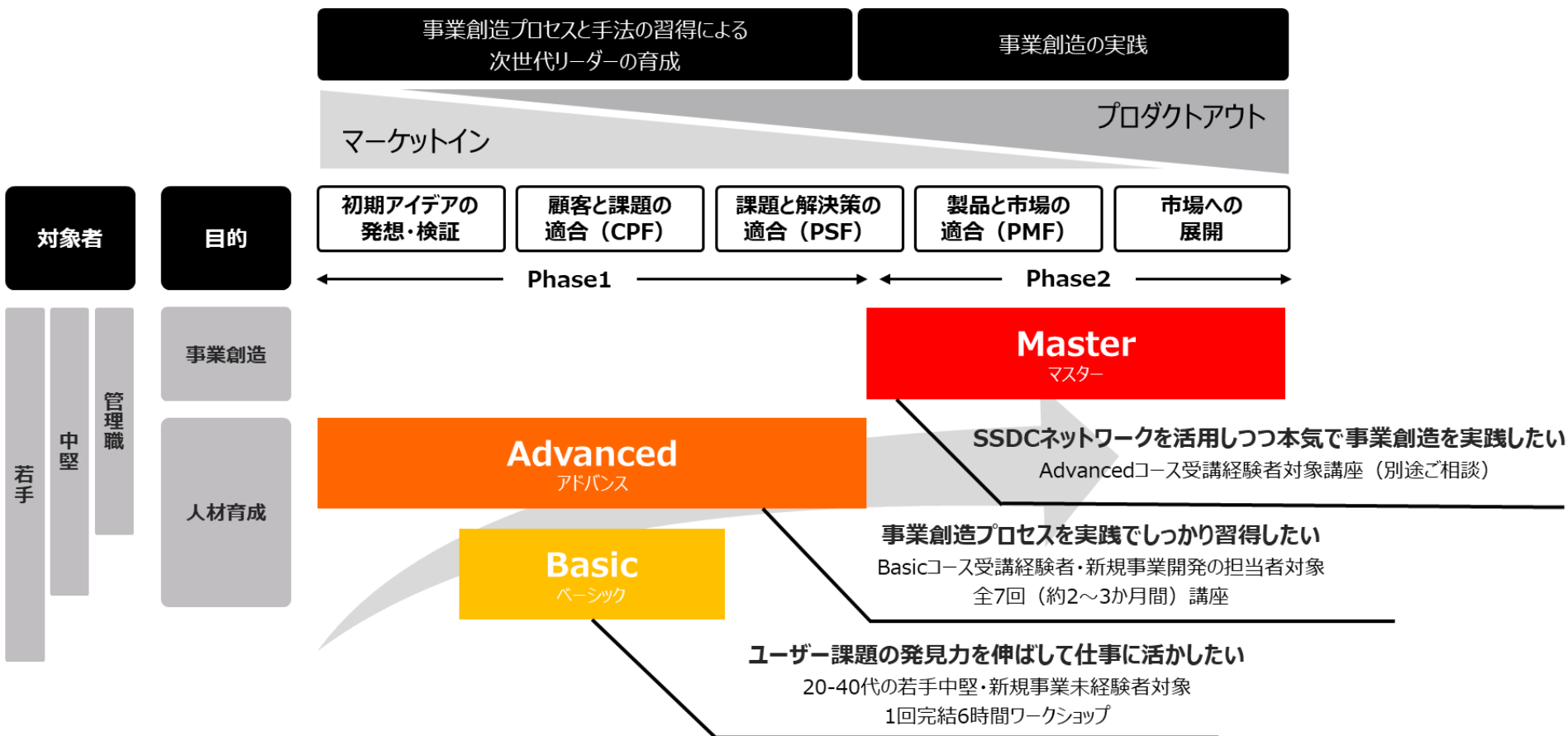
解くべき課題、解決策を探求する

ビジネスプランの実現可能性を高める





事業創造デザインプログラムの全体像



※2021年4月現在、各コースをオンライン化して提供中



2021年度に実施する2つのコース



SSDCテーマ コース

【テーマ】

- ・ 次世代の学び & 奨学金からの解放
- ・ 自らバリアフリー車いす

【開催時期】

7/9(金) Basicワークショップ
7/23(金)～10/1(金) Advanced(全7回)
10月以降 Master(事業化検討)



開港都市テーマ コース

【テーマ】

- ・ 開港都市に住まう市民の方々の課題を、デジタル技術で解決する

【開催時期】

7/16(金) Basicワークショップ
7/31(金)～10/22(金) Advanced(全7回)
11月以降 Master(事業化検討)



SSDCテーマコース 概要と日程



項目		テーマ	日程	時間	対象	備考
SSDCサロン		次世代の学び&奨学金からの解放 自らバリアフリー車いす	7/9(金)	18:00～19:00	SSDC理事・アドバイザー・会 員・学生など対象	
Basicワークショップ		座学&ワーク 事業創造の概要とデザイン思考・ジョブ理論	7/9(金)	19:00～21:00	希望者はどなたでも参加可	
Advanced	Day1	困りごと当事者の課題を深堀する	7/23(金)	18:00～20:30	SSDC会員・学生など対象 事業創造の手法を学び、実現 に本気で取り組みたい方 自習(1-2h/週)や外部インタビ ュー・チームミーティング(2- 3h/週)の時間を確保できる方 定員24名 (4名×6チーム程度)を想定	SSDCサロンorBasicワークショ ップ参加を前提として、 ～7/20(火)まで希望者を募集 ののち チームを組成し、開催 事前にテキスト配布および動 画配信いたします。
	Day2	初期MVPを考える	7/24(土)	18:00～20:30		
	Day3	初期のビジネスモデルを考える	8/6(金)	18:00～20:30		
	Day4	中間報告会	8/20(金)	18:00～20:00		
	Day5	説得力あるビジネスプランを策定する	9/3(金)	18:00～20:30		
	Day6	プレゼンテーションの準備を行う	9/17(金)	18:00～20:30		
	Day7	最終報告会	10/1(金)	18:00～20:00		
Master		MVP検討・構築・検証を通した 事業化検討	10月～ 3～6か月 程度		Advanced最終報告会の評価 および本人の意思を確認のの ち、チームを再組成し、開催	月1回程度定例会を開催し、事 業化に向けた仮説検証を想定

開催形態について

- 全コース原則、オンライン(Zoom)での開催を予定しています(感染症の状況を鑑み、一部コンテンツのみリアルでの開催可能性あり)

受講料について

- 全コース無料となります

知的財産権の取り扱いについて

- 事業創造デザインプログラム内で発案された事業アイデアの知的財産権については、[SSDC会員規約](#)に準じるものとします



SSDCテーマコース 概要



「次世代の学び/奨学金」に関する対話の中から浮かびあがってきた方向性

Why

何のために学ぶのか？

目的、将来の選択肢のイメージ、メンター、
学ぶこと自体の楽しみ...

How

どのように教え・学ぶか？

双方向性の醸成、アウトプットの機会、
習熟レベルに合わせた個別最適化、学びに伴う「お金」
AI利活用のベネフィットとリスク...

What

これまでの学び

就職のための学歴を得る場所

学生/教師（タテの関係）

教師に問いをもらい答えを探す

高額な授業料・奨学金返済負担↑

オフライン
リアルタイム } が前提

「誰に学ぶか」

次世代の学び

未来を描き実現する力を磨く場所

学生/社会人/コーチ（ヨコの関係）

自ら問いを立て解を創り出す

適正な授業料・奨学金返済負担↓

オンライン（+オフライン）
非リアルタイム（+リアル） } が前提

「誰と学ぶか」



開港都市テーマコース 概要と日程(案)



項目		テーマ	日程	時間	対象	備考
SSDCサロン		開港都市の課題とデジタル化による解決を考える	7/16(金)	18:00～19:00	SSDC理事・アドバイザー・会員・学生など対象	
Basicワークショップ		座学&ワーク 事業創造の概要とデザイン思考・ジョブ理論	7/16(金)	19:00～21:00	希望者はどなたでも参加可	
Advanced	Day1	困りごと当事者の課題を深堀する	7/30(金)	18:00～20:30	SSDC会員・学生など対象 事業創造の手法を学び、に本気で取り組みたい方 自習(1-2h/週)や外部インタビュー・チームミーティング(2-3h/週)の時間を確保できる方 定員24名 (4名×6チーム程度)を想定	SSDCサロンorBasicワークショップ参加を前提として、 ～7/27(火)まで希望者を募集ののち チームを組成し、開催 事前にテキスト配布および動画配信いたします。
	Day2	初期MVPを考える	8/7(土)	18:00～20:30		
	Day3	初期のビジネスモデルを考える	8/27(金)	18:00～20:30		
	Day4	中間報告会	9/10(金)	18:00～20:00		
	Day5	説得力あるビジネスプランを策定する	9/24(金)	18:00～20:30		
	Day6	プレゼンテーションの準備を行う	10/8(金)	18:00～20:30		
	Day7	最終報告会	10/22(金)	18:00～20:00		
Master		MVP検討・構築・検証を通した事業化検討	11月～ 3～6か月 程度		Advanced最終報告会の評価および本人の意思を確認ののち、チームを再組成し、開催	月1回程度定例会を開催し、事業化に向けた仮説検証を想定

開催形態について

- 全コース原則、オンライン(Zoom)での開催を予定しています(感染症の状況を鑑み、一部コンテンツのみリアルでの開催可能性あり)

受講料について

- 全コース無料となります

知的財産権の取り扱いについて

- 事業創造デザインプログラム内で発案された事業アイデアの知的財産権については、[SSDC会員規約](#)に準じるものとします



開港都市テーマコース 概要(案)

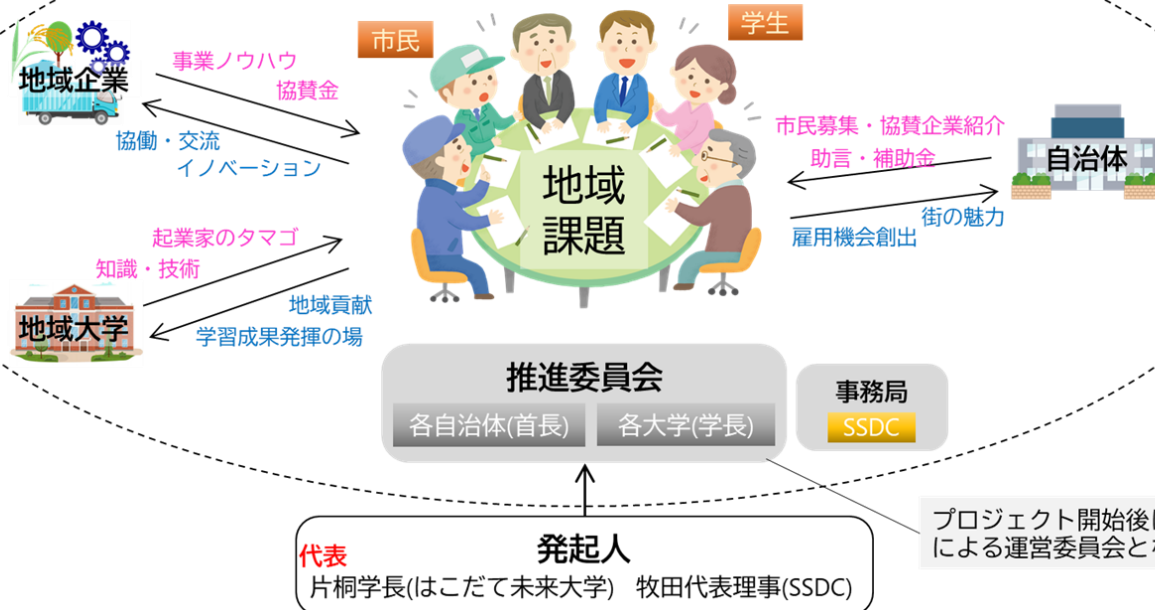


市民・学生が互いに助け合いながら地域課題を解決する

開港都市連携プロジェクト

私たちのビジョン

開港都市が
誰もがより良い暮らしを続けていける
魅力と活気と自信があふれる
市民活躍都市となって
新しい地方創生のあり方を示す



ねらい

社会課題、特に地域社会の課題について、市民・学生が中心となり、デジタル技術を用いて課題を解決できるようにすること。



事業創造デザインプログラムで得られること



手法

変化の時代に適合する、最新の**新規事業創造手法**

デザイン思考・ジョブ理論・Lean Startupを軸にした最新の事業創造手法。
修了後もアルムナイとして、最新コンテンツ視聴や実践でのアップデート可能



スキル

プロジェクトで学ぶ、課題発見・解決の**実践的スキル**

アイデア発想・MVP作成・インタビューによる仮説検証・ビジネスモデル構築・
収益計画策定・マーケティング戦略・プレゼンテーション・ファシリテーション



リテラシー

時間・空間を超えた、チーム協働のための**リテラシー**

Zoom、Mural、Slack、Google Driveなど最新オンラインツールによる
同期・非同期型コミュニケーション・コラボレーションのための徹底活用を指南



組織文化

組織に活力をもたらす**「創造的対話」「他流試合」経験**

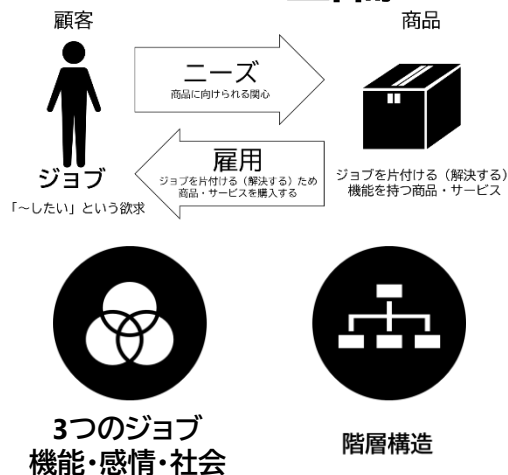
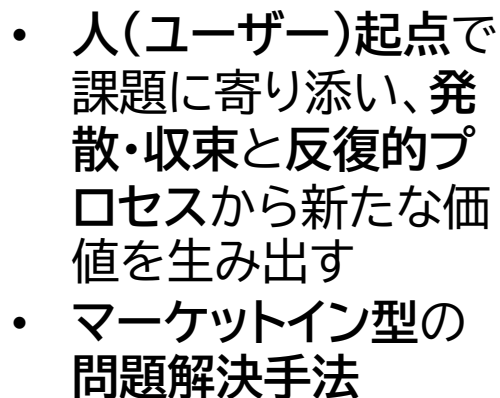
様々なバックグラウンドの社会人と学生が混ざり合い認め合う場でもある「出島」での活動が、所属組織に戻ってもリーダーシップ・フォロワーシップの原体験に



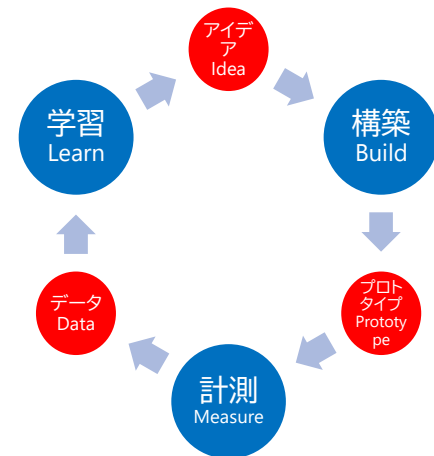
マインドセット

自ら考え、自律的に行動する**「想い」「情熱」**

産学トップランナーの特別講義・講演やアルムナイのメンタリング支援を通して、自ら考えて行動する「アントレプレナーシップ」を醸成



- 人の成し遂げたい欲求(ジョブ)に焦点
- 機能・感情・社会の側面とその付帯状況から分解
- インサイトを得る購買行動分析手法



- アイデアから**実用最小限の製品(MVP)**を創る
- 仮説ベースで**顧客の反応を検証**
- 高速・低コストで改良・軌道修正を行う**事業創造手法**



プログラムの大まかな流れ(Advancedの場合)



Zoom
Web会議



Mural
オンライン
ホワイトボード

講義
(同期型)

座学
(理論)

ワーク
(演習)

プレゼンテーション
(発表)

フィードバック
(相互支援)

チーム(3~5名程度)にて約2~3か月を通して、
ひとつの事業アイデアを仮説検証



Slack
チーム
コミュニケーション



Google Drive
共同編集 &
共有ストレージ

講義外
(非同期型)

アイデア
(仮説)

デザイン
(実験設計)

インタビュー
(検証)

フィードバック
(学習)

参考:『研修デザインハンドブック』
中村文子 ポブ・パイク著
日本能率協会マネジメントセンター、2018年

参考:『スタートアップ・マニュアル』
スティーブ・ブランク 著、堤孝志 飯野将人 訳
翔泳社、2012年



テキスト・成果物サンプル(Advanced2期)

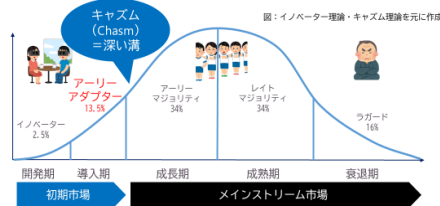
デザイン思考のプロセス



Copyright © Social System Design Center

最初に狙う顧客はアーリーアダプター

事業を創るにあたり最初の顧客は「**アーリーアダプター**」
先進的かつ、マジョリティ層に対しての伝道師的立場となる存在

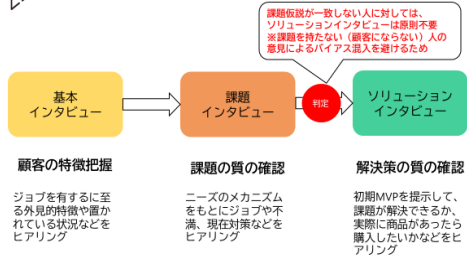


Copyright © Social System Design Center

顧客価値提案シートの記入方法

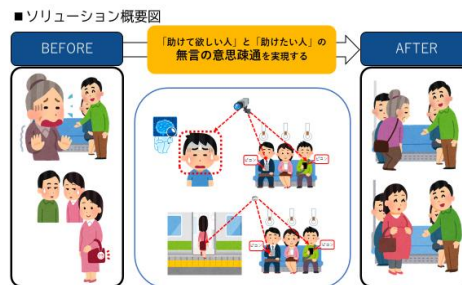
Copyright © Social System Design Center

インタビューの手順



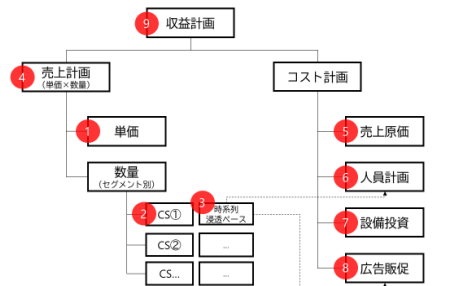
Copyright © Social System Design Center

ソリューションコンセプトシート②



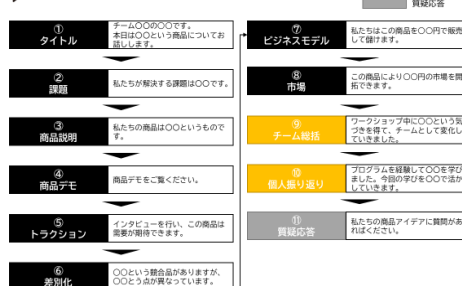
Copyright © Social System Design Center

収益計画を作る

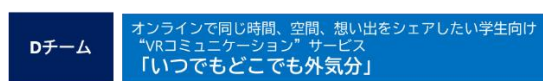


Copyright © Social System Design Center

プレゼンテーションの基本構成



Copyright © Social System Design Center





「事業創造デザインプログラム」発のアイデア例



遠く離れた家族の服薬状況を確認したい介護者向け
“薬の服薬状況見える化” アプリ&ピルケース
「ピルボン」

Comfy JAPAN

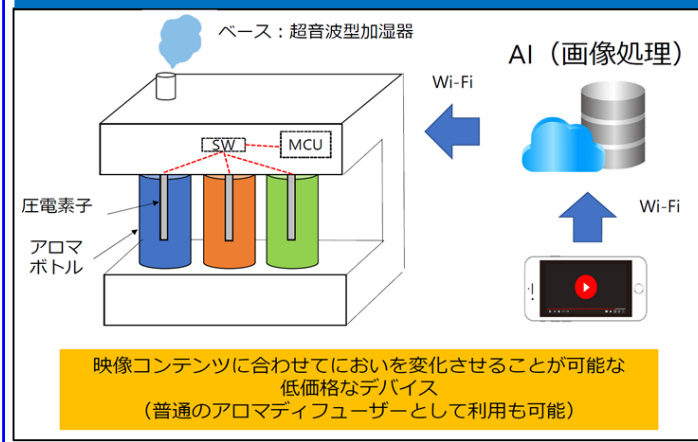
TEAM C

日本でのアルバイトを探す外国人と雇用者向け
労働環境のミスマッチ解消サービス
「Comfy JAPAN」



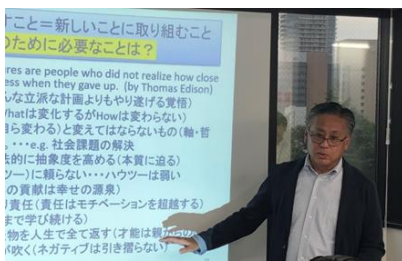
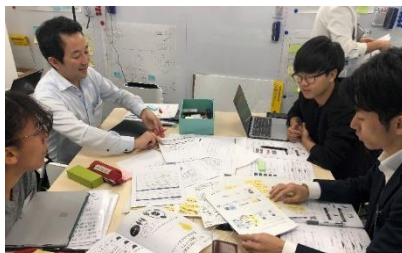
旅行者・旅行先の現地人向け
安全情報検索の時短化サービス
「あんしん旅行シミュレータ」

テレワーク下での気分転換に悩みを抱えている
方向けの新たな動画視聴体験創成サービス
「Smart Smell」



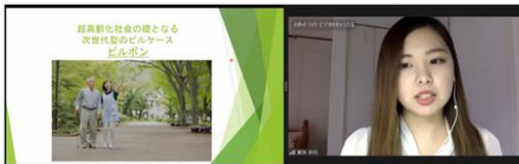
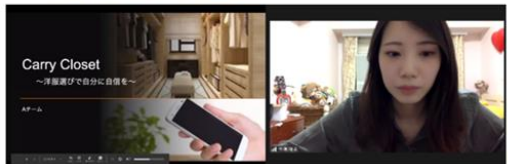
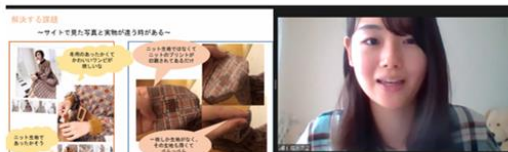
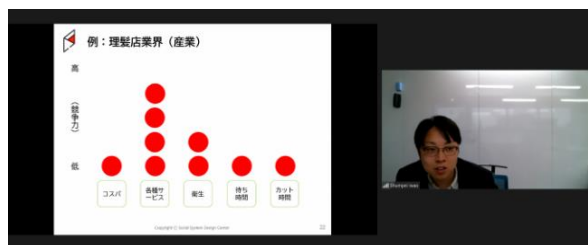
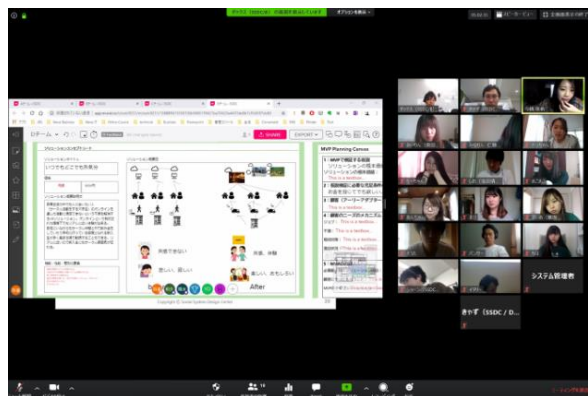


講義風景(Advanced 第1期) ※リアルにて開催





講義風景(Advanced 第2期)※フルオンラインにて開催





プログラムアドバイザー

堤 孝志

ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社代表取締役
ベンチャーキャピタリスト

事業化プロセスを活用してスタートアップの投資育成を行うシードアクセラレーターを運営する。総合商社、シリコンバレー及び国内のVCでの通算20年以上にわたる新規事業の立ち上げとベンチャー投資の経験と、「顧客開発モデル」等の事業化手法の知見とをブレンドした経営支援が強い。
SSDCアドバイザー



岩尾 俊兵

明治学院大学経済学部国際経営学科専任講師
東京大学大学院情報理工学系研究科客員研究員・非常勤講師
博士（経営学）

生産管理と経営組織論の融合、経営学説史研究を軸に、教育・研究の傍ら、自らイノベーターとして中堅ベンチャー企業複数社の取締役・監査役・技術顧問等を兼務。著書に『イノベーションを生む“改善”』。
SSDCアドバイザー

ファシリテーター



北村 和久

2005年に日本ビジネスシステムズ株式会社に入社後、法人営業として12年間、大手通信会社・TV局・広告代理店などエンタープライズ顧客を担当。その後、経営企画で中期経営計画策定・グループ統合および社内イノベーション創出プログラムの制定を推進。2019年、SSDCの法人立上げから参画。人の集う場づくりとファシリテーションが強い。
中小企業診断士。



佐藤 翔太

2015年にJBSテクノロジー株式会社に中途入社。インフラエンジニアとして多数のシステム導入案件における運用設計を担当。運用設計を体系化した書籍「運用設計の教科書」出版プロジェクトの中核として貢献。その後、日本ビジネスシステムズ株式会社へ転籍。ITサービスマネジメントのコンサルティング業務を担当。2020年、SSDCに参画。コンサルティング経験を活かした論理的な思考が強い。ITIL Expert。



北田 将基

2014年に日本ビジネスシステムズ株式会社に入社後、インフラエンジニアとして大手生命保険会社を担当。
2年次よりプロジェクトマネージャーとして実績を積み、会社創設以来最年少PMPとして、数多くのプロジェクトを成功に導く。2019年、SSDCに参画。技術者視点での冷静な分析に基づくインサイトの抽出が強い。



受講生の声(事業創造デザインプログラム)

必要なものだけを選び抜く力が鍛えられた。根本価値を問われる中で、日々必要のない要素をそぎ落としていくプロセスを経験出来た。(30代、Advanced 第1期)

作りこまないMVPで検討改善を進める手順が特に印象に残っています。自身が製品企画担当をしていた90年代後半から00年代前半は「可能な限り作りこめ」という発想が標準だったので大きな変化を感じます。(40代、Advanced 第1期)

学習内容、人脈、自己啓発、全ての面において、大いに影響を受けた。本プログラムに参加することで、マインドセットの変化を感じてほしい。(30代、Advanced 第1期)

課題を整理していく手順(手法)。洗い出した課題、それが本当に必要とされるものなのかを、ニーズのメカニズム、ソリューションを整理して、検討していくイメージができた。(40代、Advanced 第2期)

フルオンラインでも全然問題なく、充実した研修を受けることができ、感謝しています。普段の仕事では、出会うことのない方々や、価値観・考え方に触れる事で、大変刺激を受けましたし、現在の仕事に対する取り組み方や視点も変化していると感じています。(30代、Advanced 第2期)

特に印象に残ったのは、事業アイデアは、身近な不の体験に注目する事で創造できるという点です。やはりプログラム受講前には、天才的な発想力が必要というイメージが強かったのですが、良い意味で覆されました。(30代、Advanced 第2期)



Why 事業創造デザインプログラム??

「イノベーションごっこはやめよう。」



大阪大学 先導的学際研究機構 教授 株式会社コトバデザイン 執行役員社長CEO 栄藤稔氏

2020.8.3

大企業で新規事業を起こすための条件

イノベーションごっこはやめよう

多くの企業では、イノベーションを経営テーマに掲げる。経営陣の多くは、AIやクラウドという言葉に焦りを感じ、さらには他企業と組むことを標榜し、本来は手段を表すそれらの言葉を目的のように用い、優秀な社員を集めて、「オープンイノベーションを起こせ。」と号令をかける。「イノベーション難民」がこの数年、顕著になっている。それは、見識なしに新規事業探索部門を作った結果、どうしたら良いかわからない人材が増えている現象だ。日本語ではベンチャー企業と呼ばれる小さな会社を英語ではスタートアップという。「立ち上げる」という意味で、新規事業開拓のために起業された会社を言う。その中で情報通信技術を背景に起業された会社が技術系スタートアップだ。この種の会社に対して、多くの伝統的既存産業に勤めるオジサン・オバサンは、ジーンズを履いて、会社ロゴをプリントしたTシャツを着た、ちょっとチャラい若者か若者気取りの中年が、展示イベントでデモをして、ビジネスモデル設計を後回しに夢を語って、デモの打ち上げでは味の薄い瓶ビールを片手に「イノベーション」という言葉にハチャイデいるという印象を持つのではないと思う。半分は当たっている。

SSDC理事 栄藤稔氏
(大阪大学教授/コトバデザインCEO)

イノベーションごっこはやめよう。

大企業で新規事業を起こすためには、以下のふたつが必要。

- ① **組織文化を変えよう**
- ② **個人のマインドセットを変えよう**

技術とビジネスの両方がわかる「スレた技術屋」を育てたい。体系的知識に加えて、スレた技術屋になれるスキル、そして、世の中を変えていこうと思う情熱をこの組織（SSDC）で涵養していきたい

<https://ssdc.ai/contribution/contribution-336/>



お申込みについて

■お申込み方法

下記QRコード/URLよりお申し込みください（Google Formが開きます）



<https://forms.gle/DECNJi3L94Y6d7iV8>



<https://forms.gle/dPp5LnctibFKQffbA>

■お問い合わせ先（参加、キャンセル、変更などに関するご相談）

社会システムデザインセンター 問い合わせ窓口

E-Mail : info@ssdc.ai



会場案内

■住所

本郷綱ビル9F セミナールーム

〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9

※参加人数等により、別会場となる場合がございます。

■アクセス

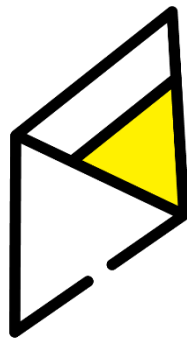
本郷通り東大正門を背にして正面右手

Hotmotto（お弁当屋）の右隣のビル

アクセスマップ：<https://ssdc.ai/about/>



※2021年5月現在、各コースをオンライン化して提供中



SSDC

人と社会の幸せな未来のために